

令和7年度

第2回みと好文カレッジ運営審議会

日 時 令和8年2月17日(火)
午前10時00分～
場 所 水戸総合教育研究所
研究室5・6

みと好文カレッジ

【次 第】

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

- (1) 令和7年度みと好文カレッジ事業実施報告について
- (2) 令和8年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について
- (3) 令和8年度みと好文カレッジ事業実施計画（案）について
- (4) その他

4 閉会

(1) 令和7年度みと好文カレッジ事業実施報告について

1 市民センターへの支援・指導

(1) 東湖塾の開催

ア 新任職員研修

○集合研修

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
4月22日(火)	①電送窓口関係について ②市民センターについて ③生涯学習の推進について ④地域の防災について	①市民課職員 ②市民生活課職員 ③みと好文カレッジ職員 ④防災・危機管理課職員	本庁舎	新任所長及び 新任会計年度 任用職員（新 任でない希望 者を含む） 11人	新任所長及び 新任会計年度 任用職員（新 任でない希望 者を含む） 13人

○訪問研修

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
6月	①市民センターの運営について ②生涯学習の推進について	みと好文カレッジ職員	各市民センター	新任所長及び 新任会計年度 任用職員 前期8回 8人 後期1回 1人	新任所長及び 新任会計年度 任用職員 前期9回 12人

イ 全体研修

○集合研修

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 7月14日(月)	普通救命講習Ⅰ	一般社団法人 水戸地区救急普及 協会	①石川市民センター	市民センター 所長又は会計 年度任用職員 ①17人 ②15人	市民センター 所長又は会計 年度任用職員 ①15人 ②12人
② 7月17日(木)			②見和市民センター		
11月10日(月)	意見交流会	なし	水戸市総合教育研究所	市民センター 会計年度任用 職員 24人	—
令和8年 1月7日(水)	所長研修 同和問題について	生涯学習課職員	水戸市役 所本庁舎	市民センター 所長 31人	市民センター 所長 23人
2月9日(月)	デザイン研修	合同会社えにしか 松崎 侑奈 林 遥	水戸市総 合教育研 究所	市民センター 職員 31人予定	—

○ブロック研修（意見交流会）

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
8月27日(水)	(北部ブロック) 市民センターにおける生涯学習事業等を進める上で疑問に感じていることについて	みと好文カレッジ 職員	柳河市民センター	北部ブロック 会計年度任用 職員 4人	中央ブロック 会計年度任用 職員 5人
8月28日(木)	(西部ブロック) 市民センターにおける生涯学習事業等を進める上で疑問に感じていることについて		赤塚市民センター	西部ブロック 会計年度任用 職員 6人	南部ブロック 会計年度任用 職員 6人

○訪問研修

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
8月～12月	市民センターにおける生涯学習事業の推進方策等について	みと好文カレッジ 職員	各市民センター	所長及び社会 教育事業担当 者 33回 36人	所長及び社会 教育事業担当 者 34回 37人

ウ 学習プログラム作成研修（ブロック研修）

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 5月28日(水)	(南部ブロック) 現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得する。	みと好文カレッジ 職員	笠原市民センター	南部ブロック 会計年度任用 職員 6人	常澄ブロック 会計年度任用 職員 4人
② 6月17日(火)					
③ 7月15日(火)					
④ 8月27日(水)					

(2) 好文塾の開催

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 12月10日(水)	(南部ブロック) 日常に潜む詐欺や犯罪の手口を知ることによって被害を事前に防ぐ力を養う。また「自分だけは大丈夫」という油断をなくし、誰もが犯罪の当事者であるという意識を養う。	①ALSOK茨城支社職員	千波市民センター	南部地区(緑岡, 寿, 見川, 千波, 見和, 笠原)在住の成人	常澄ブロック 「知っておきたいお金と相続のはなし～あなたとあなたの家族のために～」
② 令和8年 1月14日(水)		②水戸市消費生活センター 田山 知賀子		定員 30人 応募者 32人 参加者	①人生100年時代のライフプラン ちょっとした工夫で変わる家計
③ 1月30日(金)	「あなたを守る防犯の知恵袋講座～狙われているのはあなたです！安心して暮らすために今できること～」 ①ほっとライフ防犯教室 ～クイズde学ぼう～ ②新時代をかしこく生きる ～生活者として・消費者市民として～ ③おまわりさんのコンサート ～音楽と一緒に学ぶ防犯～	③茨城県警察音楽隊		①25人 ②26人 ③25人	②相続 はじめの一步～こんなにある！相続手続き～ ③移動学習 ～造幣局での工場見学 身近なお金について学んでみましょう～ 定員 20人 応募者 19人 参加者 ①17人 ②18人 ③18人

単独好文塾の開催

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
7月31日(木)	夏休み親子プログラミング教室	合同会社クリエイトキッズ代表 小平 文和 NPO法人ひと・まちねっとわーく 村岡 康秀	石川市民センター	石川地区在住の小学4～6年生とその保護者 定員 10組 20人 応募者 9組 18人 参加者 9組 18人	—

2 全市的な生涯学習の推進

(1) みと弘道館大学の開催

ア 茨城しぐさ

チラシ③

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
希望校なし	「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考える	NPO法人ひと・まちねっとわーく 宮澤 直美	—	—	—

イ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

現在の登録者数は、人材育成講座「さきがけ塾」第一期修了生から第八期修了生まで合計65人。

(7) 生涯学習サポーター協働企画講座

チラシ④

○カラフルな暮らしのすすめ

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 10月30日(木)	ごきげんに毎日を過ごすために大切なことを学び、カラフルで心地よい暮らしの一助とする。	①水戸市防災士協会第一副会長 野上 大介	水戸市福祉ボランティア会館	市内在住または通勤・通学する成人で、3回とも参加可能な方 定員 30人 応募者 77人 参加者 ①26人 ②30人 ③22人	—
② 11月6日(木)	①あなたと家族を守るために～知って備える水戸の防災～	②こんまり流®片づけコンサルタント 海野 美香			
③ 11月20日(木)	②一度片付けたら二度と散らからない～ときめき片付け術～ ③明日をラクにする身体づくり～頑張らない筋トレを体感～	③体芯力®認定講師 岡崎 静枝 ※全員水戸市生涯学習サポーター			

○地図の先駆者 長久保赤水

チラシ⑤

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 11月12日(水)	長久保赤水の作成した地図に触れ、当時の地名や地形などから地理の面白さを体験する。	長久保赤水顕彰会会長 佐川 春久	千波市民センター	市内在住または通勤・通学する成人で、3回とも参加可能な方 定員 40人 応募者 41人 参加者 ①41人 ②39人 ③38人	—
② 11月25日(火)	①いったい何者？江戸の地図男－長久保赤水とは？－				
③ 12月9日(火)	②江戸時代後期の巨星長久保赤水－農家から儒学者へ－ ③長久保赤水 資料群－693点の解説－				

○親子でドキドキ！！

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 11月8日(土)	2つのイベントを通して、楽しさや感動を共有し、絆を深める。	①「あんしあ会」 木ノ内 勇 木村 茂樹	常磐市民センター	市内在住又は通学する小学生1～4年生とその保護者で、2回とも参加可能な方	—
② 11月29日(土)	①ワクワクニュースポーツ!! ～ポッチャやオーバルボールを楽しもう～ ②植物のおもしろ世界!! ～実験でたしかめてみよう～	②生涯学習サークル「ふみの会」 主宰 浜口 喜夫 浜口 悦子		定員 14組 28人 応募者 8組 16人 参加者 ① 7組 14人 ② 5組 10人	

(イ) 生涯学習サポーター協働企画講座振り返りおよびサポーター研修会

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
令和8年 1月22日(木)	水戸市生涯学習サポーターが、現代の多様な課題に応じた魅力ある講座を企画・運営できるよう、実践を振り返り今後に生かす力を高めることを目的とする。 また、振り返りと研修を同時に行うことで、互いの取り組みを学び合い、客観的な講評を受ける機会を確保し、知識と経験を磨いて地域の生涯学習推進により一層貢献できるようにする。	茨城県水戸生涯学習センター次長兼企画振興課長 鈴木 昭博 茨城県水戸生涯学習センター企画振興課社会教育主事 大口 武文	水戸市福祉ボランティア会館	生涯学習サポーター 19人	サポーター研修会 「人生100年時代を学び続けるために～魅力ある講座づくりとは～」 参加者 生涯学習サポーター 23人

ウ 青少年講座

○親子でハンディファンをつくろう

チラシ⑦

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
6月14日(土)	電池の繋ぎ方によるモーターの回る向き，回り方や電流の強さなどの電流の働きを学ぶとともに，電流の正しい知識・使い方を学ぶことで，電気の安全性や省エネルギーの基本についての理解を深める。	一般財団法人 関東電気保安協会 深谷 正樹	鯉淵市民 センター	市内在住又は 通学する小学 3～6年生と その保護者 定員 15組 30人 応募者 35組 70人 参加者 15組 30人	—

○夏休みプログラミング教室

チラシ⑧

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
8月8日(金)	1組1台タブレットを使用し，プログラミングツール「Scratch(スクラッチ)」でプログラミングの基礎を学習する。 「親子でプログラミング体験」	合同会社クリエイ トキッズ代表 小平 文和 NPO法人ひと・ま ちねっとわーく 村岡 康秀	見和市民 センター	市内在住又は 通学する小学 4～6年生と その保護者 定員 10組 20人 応募者 22組 44人 参加者 9組 18人	(午前の回) 定員 10組 応募者 34組 参加者 10組 (午後の回) 定員 10組 応募者 29組 参加者 9組

○ナンて簡単クッキング 中学生のカレーなる挑戦！

チラシ⑨

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
8月19日(火)	調理器具の使い方や，手順を確認し手際よく作業を行う計画性を意識し，グループで協力して料理を完成させることで，料理の技術向上だけでなく，目標へ向けた計画性や日常生活への自信を育む。 カレー・ナンをグループで協力してつくる。包丁やガスコンロ等の調理器具を使い調理する。	プティパン・ド・ミ チ代表 鈴木 三智	水戸市福 祉ボラン ティア会 館	市内在住又は 通学する中学 1～3年生 定員 18人 応募者 25人 参加者 17人	—

○踊って学んでピタッとSTOP!冬休みトラブル

チラシ⑩

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
12月24日(水)	子どもたちが巻き込まれやすいネット・ゲームトラブルや、不審者対策について、家族で一緒に学ぶ。	水戸地区防犯協会 水戸警察署生活安全課 茨城元気計画	内原市民センター	市内在住又は通学する小学生とその保護者 定員 100人 応募者 51人 参加者 39人	—

エ 成人講座

○「もしも」の前に。～相続とお金、はじめの一歩～

チラシ⑪

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 10月15日(水)	相続の制度やお金の基礎知識を学び、世代を問わず相続を「自分ごと」として身近に感じてもらい、安心して暮らすための第一歩を踏み出すことを目的とする。 ①長い人生に備える！～かしこいお金の残しかた・使いかた～ ②”うちには関係ない”は本当？～相続の基本を学ぼう～	①ファイナンシャルプランナー 山口 京子	千波市民センター	市内在住又は通勤・通学する成人の方 定員 30人 応募者 79人 参加者 ①26人 ②25人	—
② 10月28日(火)		②ファイナンシャルプランナー 高村 浩子			

○大人のためのドローン体験会

チラシ⑫

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
令和8年 1月15日(木)	ドローンを操作する上での初歩的なルールや操作方法を学ぶ	合同会社クリエイティブ トキッズ代表 小平 文和 NPO法人ひと・まちなつとわーく 村岡 康秀	内原市民センター	市内在住又は通勤・通学する成人の方 (午前の回) 定員 20人 応募者 58人 参加者 17人 (午後の回) 定員 20人 応募者 38人 参加者 18人	(午前の回) 定員 12人 応募者 70人 参加者 12人 (午後の回) 定員 12人 応募者 70人 参加者 12人

(2) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

チラシ⑬

○NPO法人の公募企画事業

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
令和8年 2月12日(木)	多様な可能性を秘めた生成AIを学ぶことで、生活や仕事の効率化を実現し、スキルや興味の幅を広げる。また、地域や世代を超えた対話や知識の共有を促進し、デジタル格差の解消や地域課題の解決にもつなげる足がかりとする。 「気軽に試してすぐ楽しい！かんたん生成AI講座」	合同会社クリエイ トキッズ代表 小平 文和 NPO法人ひと・ま ちねっとわーく 村岡 康秀	千波市民 センター	市内在住又は 通勤・通学する 成人の方 定員 20人 応募者 134人 参加者 人	—

(3) 子育て応援塾の開催

チラシ⑭～⑮

ア 家庭教育講座

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
9月20日(土)	「ありのままの自分で ハッピー子育て」 グループディスカッ ションやロールプレ ィングなどの体験学 習を通して、自己肯 定感を高め、コミュ ニケーション力を磨 き、親と子がお互 いを大切にしながら 日々を過ごすため の方法を学習する。	コミュニケーション インストラクター 中島 由佳子	水戸市総 合教育研 究所	市内在住又は 通勤・通学する 方で子育てに 関心のある16 歳以上の方(子 育て中の方優 先) 定員 25人 応募者 30人 参加者 17人	定員 25人 応募者 25人 参加者 25人
令和8年 2月28日(土)	「ねむりで育む子ども のリズム」 幼児期から小学校低 学年にかけての健 やかな成長を支 える睡眠について 学び、家庭でのよ り良い生活リズム づくりに活かす。	茨城キリスト教大 学文学部児童教 育学科准教授 清水 悦子	鯉淵市民 センター	水戸市在住 または、通勤・ 通学する、幼 児期から小学 校低学年を持 つ保護者 定員 30人 応募者 56人 参加者 人	—

イ 家庭教育出前講座

チラシ⑯

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
9月12日(金)	どうするいやいや期	茨城女子短期大学 こども学科非常勤 講師 橋本 祥子	さんさん 保育園	さんさん 保育園 保護者 12人	—

ウ パパといっしょに夢らんど

チラシ⑰～⑱

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 5月31日(土)	(パート1) 2, 3歳児とその保護者 を対象に, 様々な講座を 実施することで, 子育て 中の親同士が出会い, 情 報交換の場を作り, 楽し みながら子育てできる よう支援する。	①水戸市英語指導 助手 ヒュー ニュー ウィン	妻里市民 センター	市内在住又は 通勤する保護 者とその子ど も(2, 3歳児)	定員 16組 32人 応募者 15組 30人 参加者
② 6月21日(土)		②子どもアート講師 綿引 真宏		定員 16組 32人 応募者 11組 22人 参加者	①14組 28人 ②12組 24人 ③9組 18人
③ 7月12日(土)	①英語で遊んじゃおう ②親子アート遊び ③ボディパーカッ ション	③ボディパーカッ ション教育振興会 認定指導者 矢代 貴司		参加者 ①11組 22人 ②9組 18人 ③7組 14人	
① 10月4日(土)	(パート2) ①親子ふれあい遊び	①「ファニーズ」代 表 根本 和典	桜川市民 センター	市内在住又は 通勤する保護 者とその子ど も(2, 3歳児)	定員 16組 32人 応募者 18組 36人 参加者
② 10月25日(土)	②英語で遊んじゃおう	②水戸市英語指導 助手 ヒュー ニュー ウィン		定員 16組 32人 応募者 12組 24人 参加者	①12組 24人 ②12組 24人 ③7組 14人
③ 11月15日(土)	③親子アート遊び	③子どもアート講師 綿引 真宏		参加者 ①9組 18人 ②9組 18人 ③8組 16人	

エ ほっとひといきママたいむ

チラシ⑒⑓⑔

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
① 6月10日(火)	(パート1) 子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマ	①ファイナンシャルプランナー 高村 浩子	水戸市総合教育研究所	市内在住の乳幼児(就学前)のお子さんをもつ保護者	定員 16人 応募者 22人 参加者 ①9人 ②11人 ③15人
② 6月24日(火)	について学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、	②スクラップブック キングインストラクター 水田 留美子			
③ 7月8日(火)	リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする。 ①子育てマネープラン ②スクラップブック ③楽しいトイトレ	③常磐短期大学幼児保育学科准教授 木村 由希			
① 9月30日(火)	(パート2) ①ことばとあそび	①言語聴覚士 高橋 まどか	桜川市民センター	市内在住の乳幼児(就学前)のお子さんをもつ保護者	定員 16人 応募者 22人 参加者 ①15人 ②16人 ③13人
② 10月14日(火)	②骨盤ヨガ	②産後TOMOサポ代表 多田 佑実			
③ 10月29日(水)	③どうするいやいや期	③茨城女子短期大学こども学科非常勤講師 橋本 祥子			
令和8年 ① 1月21日(木)	(パート3) ①仕上げ歯磨き	①茨城県歯科衛生士会 副会長 伊藤 敦子	水戸市総合教育研究所	市内在住の乳幼児(就学前)のお子さんをもつ保護者	定員 16人 応募者 21人 参加者 ①12人 ②13人 ③9人
② 2月5日(木)	②とっさの時の救急対応	②一般社団法人水戸地区救急普及協会			
③ 2月19日(木)	③ねむりの育て方	③茨城県キリスト教大学文学部児童教育学科准教授 清水 悦子			

(4) 育児ボランティア「えくぼ会」制度の利用促進

ア 派遣回数

	登録者数（人）	派遣件数（件）	派遣人数（人）	預かった子ども（人）
令和7年度	52	20	111	103
令和6年度	51	21	136	138

※ 令和7年度は令和8年1月末現在

イ 育児ボランティア研修会の開催

月日	内容	講師	開催場所	参加者	令和6年度
4月24日(木) ①午前の回 ②午後の回	普通救命講習Ⅲ	一般社団法人水戸 地区救急普及協会	水戸市福 祉ボラン ティア会 館	育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 ①8人 ②7人	育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 ①15人 ②12人
令和8年 3月4日(水) [予定]	託児ボランティアの 心得	常磐短期大学幼児 保育学科准教授 木村 由希	水戸市福 祉ボラン ティア会 館	育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員	託児ボランテ ィアの心得 育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 23人

(5) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

ア 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

チラシ②

協議会委員 6人

開催回数	日時
2回	令和7年8月29日(金) 10時～ 令和8年2月24日(火) 10時～

イ 水戸市訪問型家庭教育支援員による家庭訪問等の実施

支援員 11人

	ケース会議（回）	個別訪問世帯数（世帯）	個別訪問回数（回）
令和7年度	9	9	10
令和6年度	8	17	24

※ 令和7年度は令和8年1月末現在

【小学校1年生世帯全戸訪問】

保護者にはあらかじめ学校を通し、全戸訪問について文書にて周知を図り、2人1組で訪問した。訪問にあたっては、玄関先にて短時間で行い、児童の家庭での様子等を聞き取り、事業について周知をした。不在であった場合には、個別訪問希望の有無についてのアンケートをポストへ投函し、提出するよう依頼した。さらに、令和8年1月～2月に全訪問世帯に事後アンケート調査を実施し、効果の検証を行うとともに、再度事業の周知を行っている。

	稲荷第一小学校
訪問世帯数	49世帯
面会世帯数	40世帯
不在世帯数	9世帯

ウ 広報活動

- 水戸市ホームページに掲載
- 保健所・子育て支援課・こども政策課・市民課・各出張所にチラシ配布依頼
- 子育て支援総合ガイドブックに掲載
- 幼稚園・保育所等にチラシ配布・ポスター掲示依頼
- 市立小学校等にチラシ配布・ポスター掲示依頼，就学時健診時のチラシ配布依頼
- 市民センターにチラシ設置・ポスター掲示依頼
- 「広報みと」（6月号）に記事掲載
- SNS（公式LINE，X，Facebook，みとっこ子育て応援アプリ）にて情報配信

エ 支援員による出張訪問の実施

- 就学時の健康診断を活用した事業周知（双葉台小学校）
就学時健診の際に開催した家庭教育講演会の時間を活用して，事業を周知するとともに，支援員による出張相談を実施した。
相談実施者数 延べ7人
- 入学説明会を活用した事業周知・面談（国田義務教育学校）
新入学児童保護者説明会時に，入学予定者の保護者（9人）と1人5分程度の支援員による面談を実施した。当日，アンケートに答えてもらいながら，保護者の入学にあたって不安なことを聞き取りし，事業について周知した。
- 支援員による幼稚園・認定こども園訪問
市立幼稚園・認定こども園・私立幼稚園のうち，希望があった園を訪問し，保護者へ事業を周知するとともに，支援員による出張相談を実施した。
訪問園数 延べ2園（前期1園，後期1園）
相談実施者数 延べ13人
※ 令和8年1月末現在

(6) 「あなたも師・達人制度」の活用促進

	登録者数（人）	派遣依頼件数（件）	派遣件数（件）	派遣人数（人）
令和7年度	326	11	11	11
令和6年度	316	15	7	7

※ 令和7年度は令和8年1月末現在

(7) 学習情報の提供

- ア みと好文カレッジホームページへの事業等の掲載
- イ みと好文カレッジ情報誌の発行

(8) 学習相談事業の充実

ア 相談者状況（件）

	行政	団体	個人	合計
令和7年度	7	2	24	33
令和6年度	11	3	22	36

イ 相談・情報提供状況（件）

	学習機会	施設	指導者	団体・グループ	教材（図書）	その他	合計
令和7年度	21	-	8	-	-	4	33
令和6年度	18	1	6	-	-	11	36

ウ 相談方法状況（件）

	電話	面談	F A X	メール	合計
令和7年度	31	2	-	-	33
令和6年度	35	-	-	1	36

※ 令和7年度は令和8年1月末現在

(2) 令和8年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について

1 運営方針

生涯学習都市宣言を踏まえ、全市的な生涯学習の総称である「みと弘道館大学」の開催を通して、どのような状況下でも学びを止めることなく、少子・高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題を解決するための学習機会を提供するとともに、学習成果を地域活動やまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

また、市民の生涯学習活動の振興を図るため、社会教育活動における基礎的なことから、より専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させるとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、時代の新たな課題に対応した学習プログラムの開発を進めるなど、市民センターへの支援・指導を強化する。

2 主要施策

(1) 市民センターへの支援・指導

ア 東湖塾の開催

市民センター職員が、生涯学習の基礎となる社会教育や家庭教育の支援の強化など、専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員としての力量を高める研修会を開催する。

さらに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、現代的課題解決に向けた学習プログラムを研究・開発し、時代に合った新しい講座を先進的な市民センター講座として提案する。

- (ア) 新任職員研修（集合研修、訪問研修）
- (イ) 全体研修（集合研修、ブロック研修、訪問研修）
- (ウ) 学習プログラム作成研修

イ 好文塾の開催

東湖塾の学習プログラム作成研修等において研究・開発された現代的課題を取り扱った企画講座が市民センター事業として根付くよう、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として位置づけ、市民センターにおける開催を支援する。

- (ア) 市民センター職員（ブロック単位）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催
- (イ) 市民センター職員（単独）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催

ウ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め、「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるよう市民センターの支援を行う。

- (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- (イ) 市民センター事業の現状と課題の調査

エ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が日常生活の中で学習の成果をどのように生かしているのか、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価を実施していく。

- (ア) 市民センターによる自己評価の実施
- (イ) 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施
- (ウ) みと好文カレッジによる事業評価制度の実施

(2) 全市的な生涯学習の推進

ア みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題、いわゆる現代的課題の解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果がまちづくりや人づくりに生かされるよう内容の充実を図る。さらに、プログラミング講座については、多くの子どもたちがデジタル技術に触れる機会を創出し、将来を担うデジタル人材の育成を図るため、開催回数を拡充する。

(ア) 茨城しぐさ

(イ) 水戸市生涯学習サポーター活動の推進（生涯学習サポーター企画講座、市民センターとの協働企画講座、研修会の実施）

(ウ) 青少年講座

(エ) 成人講座

イ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有化するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図り、協働で現代的課題や地域の課題についての学習プログラムを作成、開催する。

ウ パイロット事業の開発・研究

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、ICT等の新しい技術を活用した講座など、先進的な講座を開発、研究し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体等でも実施できるよう支援する。

エ 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方を考え、見つめ直す機会を提供する。また、未就学児とその保護者を対象に、親子で活動する場や親同士、育児ボランティアとの情報交換の場を提供することによって、育児に対する悩みや不安を解消し、楽しみながら子育てできるよう支援する。

(ア) 家庭教育講座

(イ) 家庭教育出前講座

(ウ) パパといっしょに夢らんど

(エ) ほっとひといきママたいむ

オ 育児ボランティア制度の活用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加できるよう、講座開催中に別室で子どもを預かる「育児ボランティア制度」の活用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の有効活用を促進する。

カ 訪問型家庭教育支援事業の拡充

保健師やソーシャルワーカー、元教員などの家庭教育支援員が、家庭でのしつけなどに悩みを持つ保護者を訪問し、傾聴や情報提供をする、必要に応じて専門機関につなぐ。あわせて、市内1～2小学校区の小学1年生のいる世帯への全戸訪問や就学時の健康診断、入学説明会を活用した出張訪問を実施するとともに、就学前教育・保育施設への出張訪問を実施し、子どもの生活習慣に関する相談等に対応することにより、さらなる家庭の教育力の向上を目指す。

キ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を「広報みと」やホームページ、情報誌などの各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。

ク 学習情報の提供の充実

生涯学習活動を推進するため、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や新しい情報のホームページへの掲載など、生涯学習活動を積極的にPRする。

ケ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等からの生涯学習相談に対し、適切で有用な助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理を行う。

(3) 令和8年度みと好文カレッジ事業実施計画（案）について

1 市民センターへの支援・指導

(1) 東湖塾

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決のための学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

研修方法は、一堂に会する「集合研修」と各市民センターへ出向く「訪問研修」を取り入れる。

ア 新任職員研修

市民センターに人事異動により新たに着任した者や新規採用者を対象に、市民センター職員として事務事業を遂行するための基本的知識を身につける。

(7) 集合研修

- 対象者 令和8年度新任市民センター所長及び新任会計年度任用職員
- 日 時 4月（予定）
- 会 場 本庁舎（予定）
- 内 容

内 容	説明者
(1) 電送窓口関係について	市民課
(2) 市民センターについて	市民生活課
(3) 生涯学習の推進について	みと好文カレッジ
(4) 地域の防災について	防災・危機管理課

(4) 訪問研修

- 対象者 令和8年度新任市民センター所長及び新任会計年度任用職員
- 日 程 6月頃，対象者を訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について
②生涯学習の推進について

イ 全体研修

市民センター職員として、生涯学習の中の社会教育事業を推進していくための基礎知識の習得や事業の企画立案の進め方等、職員の支援にあたる。

(7) 集合研修「第1回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター職員（会計年度任用職員含む）
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 未定

(4) 集合研修「第2回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター職員（会計年度任用職員含む）
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 未定

(ウ) 集合研修「第3回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター職員（会計年度任用職員含む）
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 未定

(エ) 集合研修「市民センター所長研修会」

- 対象者 市民センター所長
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 未定

(オ) 訪問研修

- 対象者 社会教育事業担当職員
- 日 程 8月～12月頃に、対象者を訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について
②生涯学習の推進について

※計画訪問のほか、市民センターからの要請を受け、随時、実施する。

(カ) ブロック研修「意見交流会」

- 対象者 ①東部ブロックの会計年度任用職員
②常澄ブロックの会計年度任用職員
- 日 時 8月～9月5日（金）までの間（各2時間程度）を予定
- 会 場 ①酒門市民センター
②稲荷第一市民センター
- 内 容 市民センターにおける生涯学習事業等を進める上で疑問に感じている事について、同じ業務に携わる会計年度任用職員が一堂に会し意見交換を行うことにより、ブロック内職員の交流を深め事務の効率化を図る一助とする。

ウ 学習プログラム作成研修

社会教育事業に従事する職員として、高度で多様化した住民のニーズに対応するため、専門的・実践的な知識や技術を身につけ、地域住民に様々な学習の機会を提供する必要がある。

そこで、市民センターの職員を対象に、現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得することを目的とする。

- 対象者 西部ブロックの会計年度任用職員
なお、研修を希望する個別の市民センターにも対応する。
- 日 時 6月～8月
- 会 場 山根市民センター
- 内 容 同じブロックの職員が共同で地域課題の整理や学習プログラムのテーマを選定し、ブロック内の地域住民を対象とした講座を企画・実施する。

(2) 好文塾

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジとの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムが全ての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

西部ブロック好文塾

○対象者 西部ブロック内住民

2 全市的な生涯学習の推進

(1) みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題、いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果を生活の充実や向上に活かされるよう内容の充実を図る。

また、時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による学習プログラムを市民に提供する。

ア 茨城しぐさ

「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考えることにより、規範意識の向上と良好な人間関係を築く一助とすることを目的とする。

○対象者 小学4年生から中学3年生及びその保護者（学校単位で実施）

○日 程 令和9年2月末日まで随時

○講 師 特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく

○内 容 授業参観，PTA研修会，総合的な学習の時間等，希望があった場に講師の派遣を行い，ロールプレイや講義を通して人付き合いの心構えを学ぶ。

イ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

人材育成講座「さきがけ塾」の修了生が水戸市生涯学習サポーターに登録し、みと好文カレッジとの協働企画講座や、市民センターとの協働企画講座を市民に提供する。

なお、現在の登録者数は、第1期生から第8期生までで64人。

(7) 生涯学習サポーター企画講座

生涯学習サポーターを4～6程度のグループに分け、企画講座を実施する。時期は9月以降を予定。

(4) 市民センターとの協働企画講座

生涯学習サポーターから、市民センターと協働で講座を企画したいグループを1～3程度募り、実施予定。

(5) 研修会の実施

生涯学習サポーターに対し、現代的課題や地域における課題について学習する機会を提供する。

ウ 青少年講座

青少年向けの講座を実施する。

エ 成人講座

成人向けの講座を実施する。

(2) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

ア NPO法人 ひと・まちなつとわーくとの連携事業「茨城しぐさ」

NPO法人 ひと・まちなつとわーくの講師を活用した出前講座を開催する。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進 (1) みと弘道館大学の開催 ア 茨城しぐさ」を参照。

イ 協働講座の開催

企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、協働で現代的課題や地域の課題についての講座を開催する。

(3) 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

ア 家庭教育講座

子育てを控えた親や子育て中の親等が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを吐露できる場を提供するとともに、体験学習をとおして、親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考えることにより、家庭における教育力の向上を目指す。

- 対象者 市内在住または在勤で子育てに関心のある16歳以上の方（子育て中の方を優先）
- 定員 30人（予定）
- 日時 未定
- 会場 未定
- 講師 コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子
- 内容 グループディスカッションやロールプレイング等の体験学習をとおして、親と子がお互いを大切にしながら日々を過ごすための方法を学習する。

※第2回の開催については、対象者及び定員、日時、会場、講師、内容等未定

イ 家庭教育出前講座

保護者が家庭教育の重要性を改めて認識し、子どもたちが家族の触れ合いを通じて、「生きる力」を育めるよう、講師が幼稚園等に出向き、家庭教育に関する講座を開催する。

- 対象者 私立幼稚園、認定こども園、民間保育園の保護者等
- 会場 各私立幼稚園、認定こども園、民間保育園
- 講師 ①朗読家 見澤 淑恵
②コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子
③茨城女子短期大学非常勤講師 橋本 祥子
- 内容 ①「未来の扉をひらく絵本の読み聴かせ」
朗読・読み聴かせの専門家である講師から、効果的な読み聴かせの方法や絵本がもつ間接体験の意義等を学ぶ。
②「忙しいからこそ知って良かった 親業」
グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習をとおして、より良い親子関係を構築するために、「親業」から短時間でも効果的な対応の仕方を学ぶ。
③「どうするいやいや期」
乳幼児のいやいや期を乗り越えるための子育てを学ぶ。効果的なアプローチを学び一緒に子育ての楽しさを共有する。
- 日程 令和9年2月末頃まで随時予定

ウ パパといっしょに夢らんど

家庭教育支援事業の一環として、2、3歳児とその父親を対象に、様々な講座を実施することで、子育て中の親同士が出会い、情報交換の場を作り、楽しみながら子育てできるよう支援する。

- 対象者 市内在住又は、勤務する父親と2、3歳児の親子
- 定員 親子16組（親1人、子1人） ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日時 パート1 5～7月頃の土曜日（全3回）を予定
パート2 10～11月頃の土曜日（全3回）を予定
- 会場 パート1 未定
パート2 未定
- 参加費 未定
- 内容 親子運動遊び、親子アート遊び、ボディパーカッション、英会話をテーマとした内容を予定。

エ ほっとひといきママたいむ

子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマについて学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする。

- 対象者 水戸市在住の乳幼児（就学前まで）のお子さんをもつ保護者
- 定員 16人 ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日時 パート1 5～6月頃（全3回）を予定
パート2 9～10月頃（全3回）を予定
パート3 1～2月頃（全3回）を予定
- 会場 パート1 総合教育研究所（予定）
パート2 桜川市民センター（予定）
パート3 総合教育研究所（予定）
- 参加費 無料
- 託児 無料（生後6カ月～未就学児）
- 内容 未定

(4) 育児ボランティア制度の活用促進

ア 前期研修会

育児ボランティア中、事故や災害があった時のために応急手当の具体的な説明、実技「自動体外除細動器（AED）」をとおり、とっさの時に対応できる救命法を学ぶ。

- 対象者 育児ボランティア「えくぼ会」会員
- 日時 4月予定
- 会場 水戸市福祉ボランティア会館
- 講師 一般社団法人 水戸地区救急普及協会
- 内容 普通救命講習Ⅲ ※主に小児、乳児、新生児対象

イ 後期研修会

会場、内容、日程等については未定。

(5) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

核家族化や少子化等による地域のつながりの希薄化等により、家庭教育を支える環境は大きく変化するとともに、家庭をめぐる問題は複雑化しており、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっている。

本事業においては、家庭でのしつけや子どもへの関わり方等について悩みを抱えているにもかかわらず、様々な事情により相談や保護者向けの学びの場に出てくることが困難な保護者に対して支援を届け、保護者への支援を通じ子どもの育ちを支えていくことを目的にしている。

ア 支援対象

市内在住の小学校1年生までの子を持つ家庭

(開始当初は未就学児を持つ家庭であったが、令和2年度から対象拡大)

イ 支援員数

10人(元教員、保健師、ソーシャルワーカー、子育て支援団体関係者)

ウ 訪問方法

(ア) 個別申込みによる訪問

元教員や保健師、ソーシャルワーカー等の家庭教育支援員(現在11人)が、2人1組で個別に対象家庭を訪問し、家庭教育に関する相談に乗り情報提供を行い、必要に応じ専門機関へとつなぐ個別訪問を実施している。

(イ) 全戸訪問

市内2校(計約50世帯)程度を選定し、小学校1年生を持つ家庭への訪問を行う。

(ウ) 支援員による出張訪問

- ・市立幼稚園、認定こども園、私立幼稚園の降園時等、保護者の集まる機会に、支援員による出張訪問を実施する。
- ・新入学児童保護者説明会や就学時の健康診断を活用し、就学予定児童の保護者への個別面談を実施する。

エ 広報活動

- ・小学校、幼稚園、保育所等へのチラシ配布やポスター掲示、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診断等でのチラシ配布
- ・市民センター、子育て支援・多世代交流センター、市立図書館、県立図書館等へのチラシ配布やポスター掲示
- ・子育て支援課の相談業務、訪問の際のチラシ配布
- ・ホームページやSNS、広報みと、みとっこ子育て応援アプリ等での情報発信等
- ・就学時の健康診断時のチラシ配布や保護者へ事業案内
- ・学校長連絡会や私立幼稚園協会、民間保育園園長会等での事業周知

オ 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

元教員や子育て支援団体関係者等6人の委員からなる協議会を設置し、事業の推進方針や家庭教育支援員の活動支援に関すること等を協議する。年2回開催予定。

○みと好文カレッジ条例

平成6年3月30日

水戸市条例第4号

改正 平成6年9月26日条例第34号

平成20年3月25日条例第16号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び第31条第2項の規定に基づき、みと好文カレッジの設置等について必要な事項を定めるものとする。

(平20条例16・一部改正)

(設置)

第2条 生涯学習活動の推進を図るため、みと好文カレッジを次のとおり設置する。

名称 みと好文カレッジ

位置 水戸市笠原町978番地の5

(平20条例16・一部改正)

(職員)

第3条 みと好文カレッジ（以下「好文カレッジ」という。）に、事務職員その他必要な職員を置く。

(平6条例34・一部改正)

(業務)

第4条 好文カレッジは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 生涯学習活動の振興に関すること。
- (2) 生涯学習活動に対する支援に関すること。
- (3) その他設置目的の達成に必要な業務に関すること。

(平6条例34・一部改正)

(みと好文カレッジ運営審議会)

第5条 好文カレッジの適正かつ円滑な運営を図るため、みと好文カレッジ運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(平6条例34・旧第5条繰下・一部改正、平20条例16・旧第10条繰上)

(組織等)

第6条 審議会は、水戸市教育委員会が委嘱する10人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 審議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、審議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平6条例34・旧第6条繰下・一部改正, 平20条例16・旧第11条繰上・一部改正)

(会議)

第7条 審議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 審議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(平6条例34・旧第7条繰下, 平20条例16・旧第12条繰上)

(委任)

第8条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平6条例34・旧第8条繰下, 平20条例16・旧第13条繰上)

付 則

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

付 則 (平成6年9月26日条例第34号)

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成6年教委規則第6号で平成6年12月20日から施行)

付 則 (平成20年3月25日条例第16号)

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

別紙 令和7年度みと好文カレッジ実施事業評価（令和8年1月末現在）

<東湖塾の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
40千円 (報償費)	16千円	・事業実施目的達成度	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問研修について、前期は新任職員がいる8か所の市民センターで、後期は全市民センターで実施し、各市民センターの実情に応じたアドバイスを行った。 ・例年実施している「救急救命講習」に加え、全市民センター職員の情報交換を兼ねた意見交流会や、新たな集合研修（デザイン研修）等を開催し、研修内容の多様化を図った。 ・引き続き、新しいテーマを取り入れた研修の実施について検討していきたい。 			

<好文塾の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
257千円 (報償費, 賃借料)	29千円	・事業実施目的達成度 ・定員に対する応募人数, 参加人数 ・受講者アンケート結果	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・日常に潜む詐欺や犯罪の手口を知ることによって被害を事前に防ぐ力を養うとともに、「自分は大丈夫」という油断をなくし、誰もが犯罪被害の当事者であるという意を醸成することをねらいとして3回シリーズとして実施した。 ・夏休み期間を利用して、親子プログラミング教室を開催した。 ・ほぼ定員程度の応募があった。 ・受講者アンケート結果は、「分かりやすい。」「役に立った。」など、好意的な声が多かった。 ・参加機会や満足度をより充実させられるテーマで、講座を実施していきたい。 			

<みと弘道館大学（茨城しぐさ, 青少年講座, 成人講座等の開催）事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
133千円 (報償費)	278千円	・事業目的達成度 ・受講者アンケート ・定員に対する応募人数, 参加人数	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年講座については、プログラミング講座（親子）・防犯講座（親子）・カレー料理講座（中学生）を実施した。また、成人講座では相続講座（大人）・ドローン講座（大人）等、幅広いジャンルを幅広い対象年齢で実施した。 ・応募倍率は平均約2倍となった。 ・アンケートの結果から、本講座は全体として高い満足度と評価を得ることができた。親子で学ぶ講座では、子どもが楽しみながら参加できたという声が多く寄せられる一方、保護者からは「学びがあった」といった感想が多く見られた。また、大人向けの講座においては、学んだテーマについて今後も主体的に学び続けたいという意欲が感じられる意見が多く寄せられた。 ・茨城しぐさは今年度も実施に至らなかった。今後の活用方法や展開の可能性について整理していきたい。 			

＜みと弘道館大学（水戸市生涯学習サポーター活動の推進） 事業評価＞

予算額	決算見込額	指標	評価
856 千円 (報償費)	218 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的達成度 ・定員に対する応募人数, 参加人数 ・受講者へのアンケート結果 	B
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育, 生活, 歴史に関する講座計3講座を企画・実施し, 市民目線での講座を提供することができた。 ・応募倍率は平均約1.4倍となった。 ・アンケートの結果から, いずれの講座も高い評価を得ることができた。中でも, 生活をテーマとした「カラフルな暮らしのすすめ」は, 防災・片付け・運動をテーマとし, 関心が低くなりがちな分野があるにも関わらず応募倍率が高く, 非常に盛況な講座となった。 ・講座作成グループの体制面の事情により, 企画途中で中止となった講座があった。今後は編成の見直しや調整を行い, 安定した講座運営を目指したい。 			

＜国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進 事業評価＞

予算額	決算見込額	指標	評価
490 千円 (報償費)	22 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的達成度 ・受講者アンケート ・定員に対する応募人数, 参加人数 	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIを初心者向けに体験してもらい, 「かんたん生成AI講座」を開催した。 ・応募倍率は約6.5倍となった。 ・興味関心の高い分野であることが一定程度確認できたことから, 市民センターでの開催等も含め, 今後の在り方について検討したい。 			

＜子育て応援塾 家庭教育講座・家庭教育出前講座開催 事業評価＞

予算額	決算見込額	指標	評価
437 千円 (報償費)	80 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的達成度 ・受講者アンケート ・定員に対する応募人数, 参加人数 	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座は, 親子の自己肯定感・コミュニケーション力を高めるロールプレイング型講座と, 子どもの睡眠を学び生活リズムへ活かすための講座を実施した。 ・応募倍率は平均約1.5倍となった。 ・アンケート結果では, 「自分を見直すきっかけになった。」「託児があるので参加しやすい。」等の声が多く, 高評価だった。 ・家庭教育出前講座は, 1件の申し込みがあった。 ・子どもの睡眠に関する講座が特に関心を集めたことから, より多くの家庭が参加できるよう, 講座内容や実施方法について検討したい。 			

<子育て応援塾 パパといっしょに夢らんど・ほっとひといきママたいむ 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
140 千円 (報償費, 保険料)	281 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的達成度 ・ 受講者アンケート ・ 定員に対する応募人数, 参加人数 	A
評価・課題 【ほっとひといきママたいむ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度同様, ミニ講座+フリートーク全3回で1講座×3講座実施した。フリートークでは, 母親同士の交流の場を作っている。 ・ 応募倍率は平均約1.3倍。リピーターが多く, 回を重ねる毎に倍率は高くなった。 ・ アンケート結果では「大人やママ同士と会話できて良かった。」という意見が多く, リピーターがいることから, フリートークによる母親同士の交流を求めている応募者が多いことが窺える。 【パパといっしょに夢らんど】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度同様, 親子での様々な体験全3回で1講座×2講座実施した。 ・ 応募倍率は平均約0.7倍。 ・ アンケート結果では「普段, 家ではできない事だったので, 子どもと一緒に経験する事ができてよかった。」「身体を使った運動はとても子どもが喜んでいたので良かった。」など, 高評価だった。 ・ 開催日や開催時間等について, より参加しやすい形となるよう, 検討したい。 			

<育児ボランティア「えくぼ会」制度の利用促進 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
62 千円 (報償費, 保険料)	51 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的達成度 	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ えくぼ会会員向けに, とっさの救命方法を学ぶ講座・託児ボランティアの基礎知識の講座を実施するとともに, 会員同士の交流を図った。その結果, えくぼ会会員の質向上および利用先増加を図ることができた。 ・ 水戸市議会傍聴の際にえくぼ会の利用が可能となり, 1回利用があった。 			

<水戸市訪問型家庭教育支援事業 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
1,280 千円 (報償費等)	556 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3か年実施計画 個別相談後の状況改善率100% ・ 事業目的達成度 	A
評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌および各施設へのチラシ配布・デジタル配信等, 様々な媒体を用いて広報活動を行った。 ・ 1小学校区の小学1年生のいる世帯(49世帯)に対して, 全戸訪問を実施した。 ・ 就学時健康診断や新入学児童保護者説明会において, 事業周知および出張の相談会を行った。 ・ 教員OBの支援員の増員を検討し, 事業周知や出張の相談会の充実を図りたい。 			

※事業評価基準

評価	評価基準
A	目標を達成することができた。前年度に比べ、成果が向上した。
B	目標を達成することができた。前年度と比べ、成果は同程度の水準であった。
C	目標の達成に向け取組を進めたが、一部達成できなかった。